



▼コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)発足について

文科省や道ではコミュニティ・スクール(以下CS)と地域学校協働活動の一体的な推進による地域と学校の連携・協働体制(地学協働)の構築を推進しています。本校でも4月よりCSを導入し、より一層教育活動の充実および改善を図ってまいります。

▼e-ネット安心講座を開催(12月9日)

総務省北海道総合通信局の川村さんをお招きして、e-ネット安心講座を開きました。日常生活や学習・仕事に欠かせないインターネットの安心・安全な利用のため、必要なルールとマナーを学び、有害サイト・詐欺行為等から身を守るスキルを習得しました。

▼屋内体育大会 (12月22日)

生徒会執行部と体育委員が、企画・運営しました。スポーツに親しみ、生徒同士の親睦を深めるのが目的です。体育館が会場で、開会式に続いてバレーボールや卓球、ドッジボール、3本引きで青春の汗を流しました。表彰式でも互いの健闘をたたえ合いました。

▼職場体験学習発表会・合格体験発表会 (12月23日)

全校生徒が体育館に集いました。生



屋内体育大会

徒は、パソコンやプロジェクトを活用して発表しました。職場体験学習発表会では、2年生が11月に3日間行った職場体験学習について貴重な体験を発表。また、今年度から1年生が、探究活動の一環として「厚真人インタビュアー」について報告しました。合格体験発表会では、進路先が決定した3年生が、就職や進学について発表しました。この体験が後輩につながり、充実していくことを期待しています。

▼全校集会 (12月24日)

コロナ禍のため、生徒は歌わずに流れる校歌を聞き、集会が始まりました。表彰伝達では、中高生意見発表会奨励賞、バドミントン大会シングルス優勝、家庭クラブ優秀賞、全道写真展佳作、各種検定合格(電卓、情報処理、ワープロ、数学)の伝達が行われました。清水美由紀校長から壇上で1人ずつ賞状を受け取り、全校生徒が拍手でたたえました。校長講話、各担当の話の後、教室では担任が諸注意等を伝えて冬休みに入りました。

よりみち学舎のプレオープンから1年。高校生活魅力化プロジェクトについて話し合う「魅力化の未来を語る会」を1月10日に開き、厚真高校や町の未来をチームで議論しました。

動機に裏付けられた 厚高生を創出するために

何かに取り組むとき、目的の先に自分が何を求めるのか。単純そうで意外と見失いがちです。例えば、ダイエット。「痩せたい」というのはとても曖昧で、「痩せて、この服を着たい」「病気にかかるリスクを減らしたい」など、具体的な動機があって初めて、継続的に自発的な取り組みができると思います。そういった「動機付け」が大切だと考えました。

「うちの子は勉強をしない」と、ご家庭の方から話を聞きます。なぜ勉強するのでしょうか？テストで良い点数を取るため、親に認められたいため、志望校に入るため…理由はさまざまです。僕自身、学生時代は勉強漬けではありませんが、「深く知りたい」とか「こうなりたい」と強く思えば今も必死に学んでいます。勉強自体が目的ではなく、「なりたい自分」を自覚することは、年齢に関係なく全ての学びにおいて大切です。

よりみち学舎は、個々の目的や動機を一緒に見つけ価値観を高めています。挑戦し続ける同級生の存在や厚真でチャレンジする大人との交流も学びです。強い動機に裏付けられた厚高生の創出。一生を支える学びの場として、よりみち学舎を磨いていきます。 教育魅力化支援員 加藤千昇



魅力化の未来を語る会

よりみち通信



「よりみち学舎」は厚真高校と地域が連携しながら放課後を利用して生徒が自ら目標を発見し挑戦する公営塾です。